

平成26年度 第38回全国高等学校ハンドボール選抜大会

戦 評 用 紙

試合番号

13

男子・女子 2回戦

会場 スカイホール豊田B コート 岡崎中央総合公園総合体育館 コート

四日市工業
チーム名

36
総得点

17 — 11
19 — 7
7mTC

18
総得点

学法石川
チーム名

四工のスローオフで試合開始。開始早々、四工がリズムをつかみ得点を重ねた。学法石川は5分、4点差がついたところでタイムアウトを要求。タイムアウト後学法石川は10番阿部を中心にシュートを決めていった。一方四工も確実に点数を取り、一進一退の攻防が続く。その後学法石川が2連取し、2点差につめたところで四工がタイムアウト。タイムアウト明け、四工は3連取し流れを引き戻した。一方学法石川もサイドや速攻で点数を重ね応戦。前半残り5分、四工が確実なDFや1番宮澤の好セーブなどで守りを固め、着実に点数を取り17-11で前半終了。後半も流れは変わらず四工が主導権を握り、点数を広げた。一方、学法石川はタイムアウトやDFシステムを変えるなど流れを変えようとするものの、四工の勢いを止めることが出来ず36-18で四工が勝利した。